

# PALEMO Web-EDI システム取扱説明書

第 1 版

2003/10

テンタック株式会社

情報システム部

TEL: (03)5624-6251

## ～ 目 次 ～

アプリケーションの起動 .....	2
初めての起動の場合 .....	2
メインメニュー .....	6
メインメニュー 1 データ入出力処理 .....	7
メインメニュー 2 受注処理（伝票操作） .....	9
(1) 未出力伝票処理 .....	10
(2) 保存データ削除 .....	13
メインメニュー 3 印字データ操作 .....	15
メインメニュー 4 請求処理 .....	17
(1) 締日入力 .....	17
(2) 請求送信データ作成 .....	18
メインメニュー 8 各種設定 .....	20
(1) 設定 .....	21
(2) 業務設定 .....	22
(6) バージョン情報 .....	23
メインメニュー 9 終了 .....	24

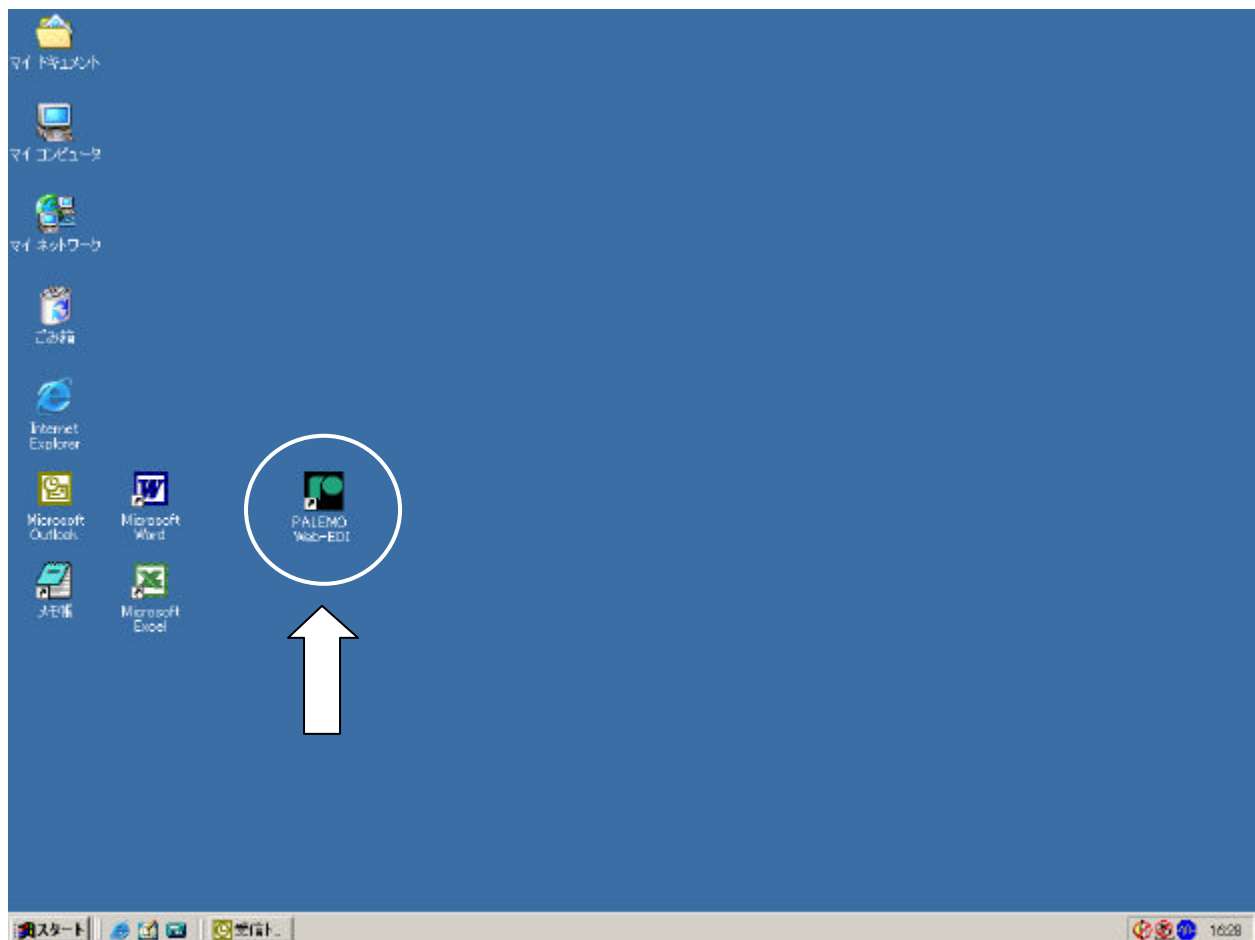
---

## アプリケーションの起動

---

デスクトップ上のショートカットをダブルクリックします。

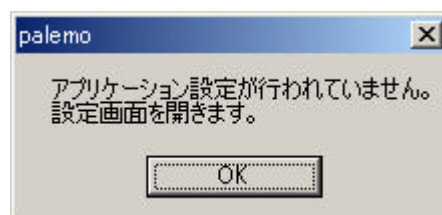
(下図は一例です。使用しているパソコンによって、デスクトップ画面は変わります。)



### 初めての起動の場合

各種設定を行うための確認画面が表示されます。指示に従って、条件などを入力して下さい。  
設定ファイルが正常に保存されると、2度目以降の起動時には表示されません。

設定画面を開くメッセージが表示されます。 ボタンをクリックして下さい。



設定画面が表示されます。各項目を設定して、**確認**ボタンをクリックして下さい。  
この画面は、後でアプリケーションから開いて修正することもできます。

< 設定項目説明 >

Web-EDI URL	発注データを受信する時に開く Web サイトの URL を入力します。
-------------	-------------------------------------

< 読み込み出力関係 >

読み込みフォルダ	発注データをシステム内に取込む際にデフォルトで表示するフォルダのパスを入力します。
書出しフォルダ	請求データをシステムから出力する際にデフォルトで表示するフォルダのパスを入力します。
書出しファイル名	請求データをシステムから出力する際にデフォルトで表示するファイル名を入力します。 (この項目で設定した内容の後に日付&時間が追加され表示されます。)

< プリント設定 >

伝票用	伝票を出力するドットプリンタ名をリストから選択します。
品揃えリスト用	品揃えリストを出力するプリンタをリストから選択します。

続いて業務設定を行うメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックして下さい。



業務設定画面が表示されます。


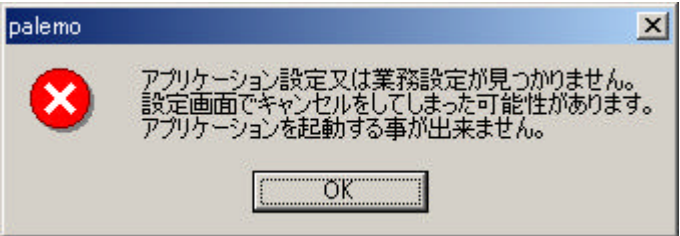
#### < 設定項目説明 >

PALEMO 締日	締日を入力して下さい。ここで設定した締日に基づいて、アプリケーションで処理を行います。 デフォルト（初期自動設定値）は 20 日です。
-----------	--

#### < 保存条件 >

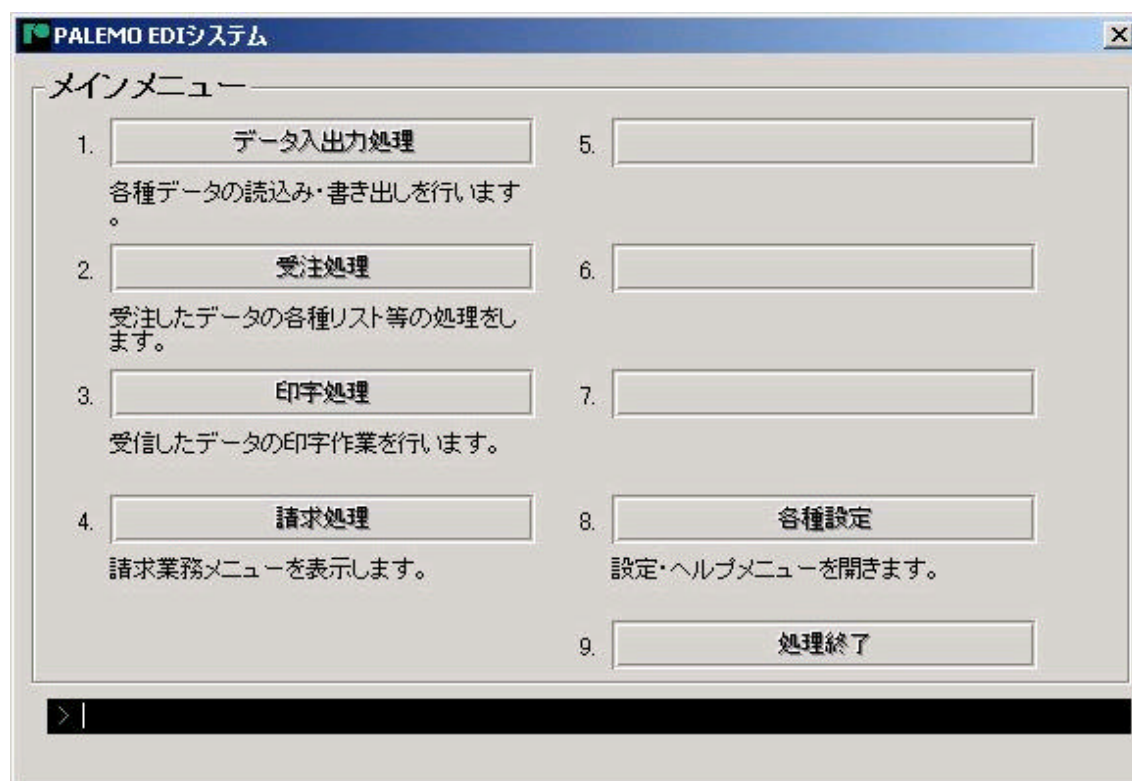
発注データ	発注データの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 3 ヶ月です。
請求データ	発注データの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 6 ヶ月です。
PB マスタデータ	PB マスタデータの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 2 ヶ月です。

< 各ボタン説明 >

デフォルトに戻す	<p>このボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示され、入力されたデータは廃棄され、デフォルト値が入力されます。</p> 
確認	<p>各項目の設定が終わったら、この確認ボタンをクリックします。</p>
取消し	<p>業務項目の設定をキャンセルする場合にこのボタンをクリックします。設定はされませんので、アプリケーションの起動はできなくなり、エラーメッセージが表示されます。</p> 

設定が正常に終了すると、アプリケーションが起動し、メインメニューが表示されます。

## メインメニュー



アプリケーションが起動すると、このメインメニューが表示されます。

業務を選択し、処理を行って下さい。

サブメニューがある場合はその内容に画面が切り替わります。サブメニューがない場合は、処理画面が表示されます。

メニューの選択方法は、次の 3 種類です。

番号が振られているすぐ右の BOX 内を、マウスでクリックする。

番号に対応したファンクションキーを押す。

(例 . 1 の「データ入出力処理」を選択する場合は **F1** キー)

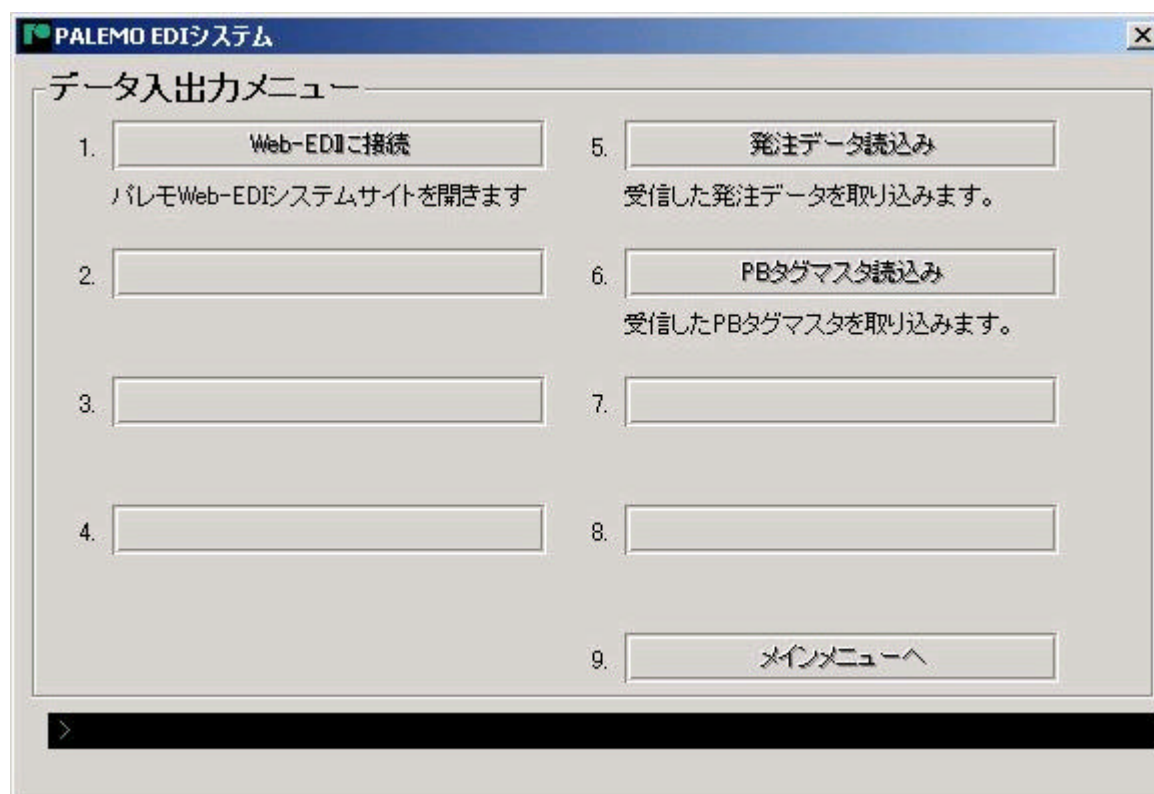
画面下部のコマンド入力欄に、メニューに対応した数字を入力する。

### 全画面共通操作

Ctrl + W      アクティブな画面を終了します。

## メインメニュー 1 データ入出力処理

メインメニューから「1.データ入出力処理」を選択すると、「データ入出力メニュー」に切り替わります。

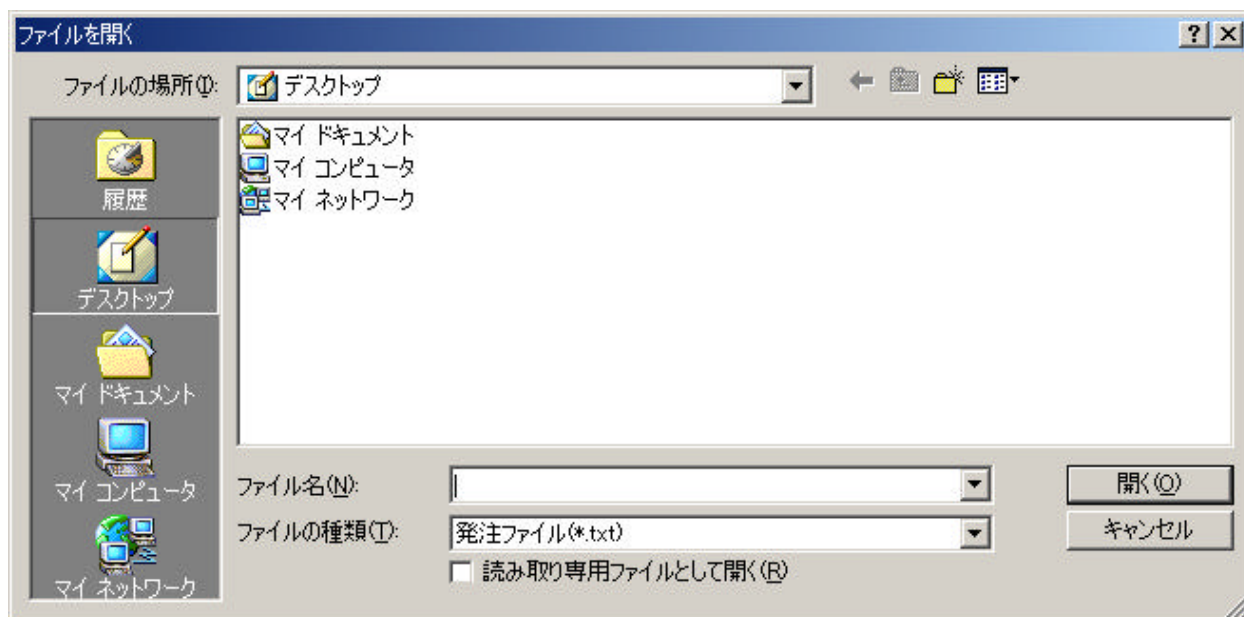


### <メニュー項目説明>

1. Web-EDI に接続	設定画面で指定した URL に接続します。 Web システムの手順に従い発注データをダウンロードして下さい。 ダウンロード中は「発注データをインポートしています。」とメッセージが表示されます。
5.発注データ読込	ファイルの指定の画面が開きます。発注データを選択して下さい。 指定した発注データを読み込みます。データの大きさによっては、 多少時間のかかる場合があります。
6. PB タグマスタ読込	受信した PB タグマスタを読み込みます。 ファイル指定の画面が開きますので、上記の「1. Web-EDI に接続」 でダウンロードしたファイルをダイアログ上で選択して下さい。 その後ファイルの取り込みが行なわれます。 発注データの読込の場合はデータ取り込み後、確認のメッセージが 表示されます。そこで <b>OK</b> を選択することにより確定されます。
9.メインメニューへ	この画面を閉じて、メインメニューを開きます。



## 発注データ指定画面例



発注データ読み込み中には、メッセージが表示されます。

データ量によっては、多少時間がかかる場合があります。終了するまで、そのままお待ち下さい。



---

## メインメニュー 2 受注処理（伝票操作）

---

メインメニューから「2.受注処理」を選択すると、「受注データ処理メニュー」が表示されます。

PALEMO EDSシステム

### 受注データ処理

1. <input type="text" value="未出力伝票発行"/>	5. <input type="text"/>
出力されていない受注データを読み込みファイル単位で出力します。	
2. <input type="text"/>	6. <input type="text"/>
3. <input type="text" value="保存データ削除"/>	7. <input type="text"/>
データベース内に保存されているデータを条件に基づき削除します。	
4. <input type="text"/>	8. <input type="text"/>
9. <input type="text" value="メインメニューへ"/>	

>

### <メニュー項目説明>

1.未出力伝票発行	出力されていない受注データを読み込み、ファイル単位で表示します。
3.保存データ削除	データベース内に保存されている受注データを、業務設定の条件に基づいて削除します。
9.メインメニューへ	この画面を閉じて、メインメニューを開きます。

[illegible]

上段には読みを行ったファイル単位で表示します。

管理 No	ファイルを読み込むたびに、本システムで付番した数字を表示します。
データ日付	センター側が処理をした日付を表示します。
読込日	本システムでファイルの読み込みを行った日付を表示します。
伝票枚数	データ内の伝票枚数を表示します。
発注書枚数	データ内の発注書の枚数を表示します。
伝票出力日	本システムで一括伝票印刷を行った日付を表示します。
品揃出力日	本システムで一括品揃え出力を行った日付を表示します。

伝票印刷 ( <b>F1</b> キー)	画面上部で選択されている管理 の伝票を全て印刷します。 「伝票出力日」セルのボタンと同じ機能です。
品揃印刷 ( <b>F2</b> キー)	画面上部で選択されている管理 の品揃リストを全て印刷します。 「品揃出力日」セルのボタンと同じ機能です。
伝票明細 ( <b>F5</b> キー)	画面上部で選択されている管理 の伝票明細を表示します。 「伝票枚数」セルのボタンと同じ機能です。
品揃明細 ( <b>F6</b> キー)	画面上部で選択されている管理 の発注明細を表示します。 「発注書枚数」セルのボタンと同じ機能です。
戻る( <b>F9</b> キー)	この画面を閉じて、「受注データ処理」メニューに戻ります。

「伝票枚数」・「発注書枚数」・「伝票出力日」・「品揃出力日」のセルにカーソルを移動させると、表示がボタンに变化します。

ボタンが表示されている時に、マウスクリックかスペースキーを押すことで、それぞれのボタンに関連した処理を行うことができます。

日	伝票枚数	発注書枚	伝票出力日	品揃出力日
5/21	4	4		
5/21	429	35		

#### <各ボタン説明>

##### 伝票発注ボタン

対象行のデータ内の伝票一覧を下段に表示します。

##### 伝票 No ボタン

伝票 No セルのボタンを押すと、その伝票を単枚印刷することが可能です。

	伝票No	発注No	店舗名称	発注日	納期	取引先名称
▶	798386	0916579	ヒカシハイソウ	03/06/24	03/07/01	デンタック
	798387	0916580	コマキハイソウ	03/06/24	03/07/01	デンタック
	798412	0916607	ヒカシハイソウ	03/06/24	03/07/01	デンタック
	798413	0916608	コマキハイソウ	03/06/24	03/07/01	デンタック

##### 発注 No ボタン

発注 No セルのボタンを押すと、数量明細の表示・修正画面を開きます。

発注数量訂正 <798386>

発注No  店名  確定(F1) 取消(F9)

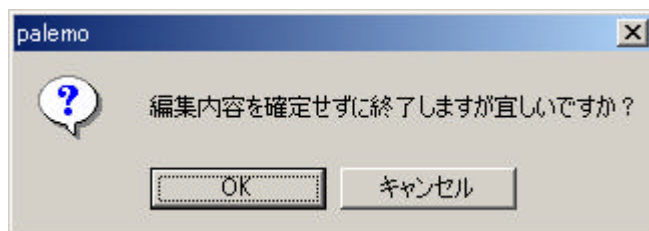
行	SK	商品原番	商品名	カラー	サイズ	受注数	納品数
▶ 1	508525	4661	ラインストーンパーカーA/B	ブルー	M	24	24
2	508533	4661	ラインストーンパーカーA/B	ブルー	L	28	28

出荷数量の変更が発生した場合、この画面から納品数を変更して下さい。

変更後、**確定** ボタンをクリックするか、**F1** キーを押すことにより入力した数字で確定します。確定と同時に上記の画面は消えます。

なお、ここで訂正された数量はこの後の処理全てに反映されます。

「取消」ボタンをクリックするか、「F9」キーを押すと、取り消し確認のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、この画面で入力したデータは反映されず、廃棄されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、発注数量訂正画面に戻ります。



## 発注書枚数ボタン

対象上のデータ内の発注一覧を下段に表示します。

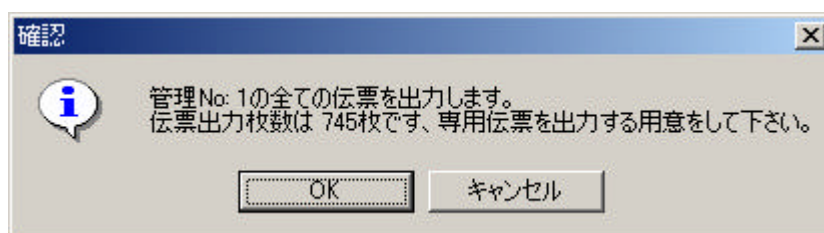
	発注No	発注日	納期	取引先名称	バイヤー名
▶	0916579	03/06/24	03/07/01	デンタック	
	0916580	03/06/24	03/07/01	デンタック	
	0916607	03/06/24	03/07/01	デンタック	
	0916608	03/06/24	03/07/01	デンタック	

発注 No ボタンを押すことにより、単枚で発注書を出力することが可能です。

## 伝票出力日ボタン

伝票出力日ボタンをクリックすると、その管理 No. のすべての発注伝票を印刷します。

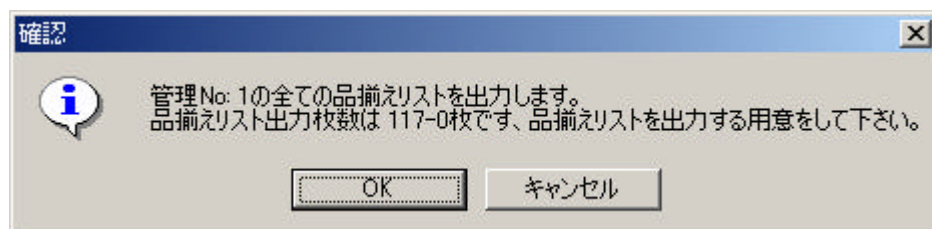
印刷確認のメッセージが表示されますので、専用用紙の準備ができたなら「OK」ボタンをクリックして下さい。



## 品揃出力日ボタン

品揃出力日ボタンをクリックすると、その管理 No. の品揃リストを印刷します。

印刷確認のメッセージが表示されますので、用紙の準備ができたなら「OK」ボタンをクリックして下さい。



## (2) 保存データ削除

データベース内に保存されている受注データを、業務設定の条件に基づいて削除します。  
メニューからこの項目を選択すると、削除対象データ検索画面が表示されます。

画面右上に業務設定で登録されている条件が、あらかじめ表示されています。検索条件を変えたい場合はここで数値を修正して下さい。

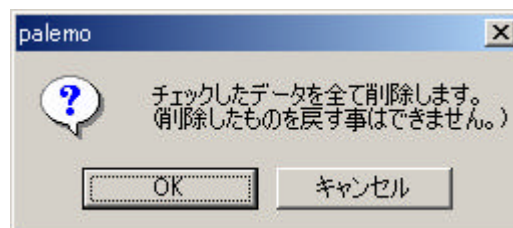
ここで条件を修正しても、システムの業務設定は修正されません。この画面上のみ有効となります。

**上記条件で検索**ボタンをクリックします。

検索結果が画面左側に表示されますので、削除するデータの CK 欄にチェックを入れて下さい。

**チェック内容を削除**ボタンをクリックします。

削除確認メッセージが出ますので、OK をクリックします。



処理終了メッセージが出ますので、OK をクリックします。



< 画面下 各ボタンの説明 >

検索 ( <u>F</u> 1 キー )	表示されている条件で検索を行います。
実行 ( <u>F</u> 5 キー )	CK 欄にチェックされているデータを削除します。
戻る ( <u>F</u> 9 キー )	この画面を閉じて、「受注データ処理メニュー」に戻ります。



## メインメニュー 3 印字データ操作

メインメニューから「3.印字処理」を選択すると、「印字データ操作」画面が表示されます。

管理No	データ日付	読込日	明細件数	未発
2	03/06/24	03/10/21	15	*
1	03/06/23	03/10/21	1,765	*

管理No	札種	札区	札名	数量	備考
2	0	2	下札(赤札)	808	

伝票No	行	SKU	商品原番	商品名	サイズ名	カラー名	数量	出力日
798386	01	508525	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	ブルー	24	
798386	02	508533	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	ブルー	28	
798387	01	508525	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	ブルー	10	
798387	02	508533	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	ブルー	10	
798412	01	508468	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	シロ	112	
798412	02	508476	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	シロ	109	
798412	03	508484	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	クロ	91	
798412	04	508492	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	クロ	110	
798412	05	508509	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	アカ	10	
798412	06	508517	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	アカ	25	
798413	01	508468	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	シロ	65	
798413	02	508476	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	シロ	64	
798413	03	508484	4661	ラインストーンパーカーA/B	M	クロ	56	
798413	04	508492	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	クロ	84	
798413	05	508517	4661	ラインストーンパーカーA/B	L	アカ	10	

値札・PB 札に関する画面です。

### < 画面説明 >

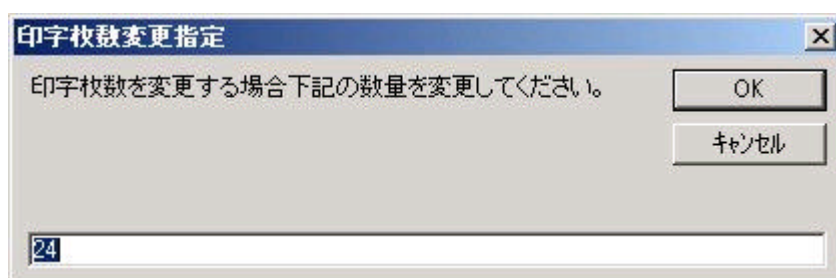
左上	読込を行ったデータを、ファイル単位で表示します。
右上	ファイル内のデータを集計し、札種単位で表示します。
下	右上札種単位のデータの明細を表示します。

### < 各ボタン説明 >

左上	管理 No	右上画面にその管理 の札別データを表示します
右上	管理 No	下部画面にその札別の明細データを表示します。
	札名	その札を一括出力します。
下	管理 No	明細ごとに札を出力します。出力数量を訂正できます( )



## 札出力数量訂正



画面下部の管理 No ボタンを押した後に、このウインドウが開きます。

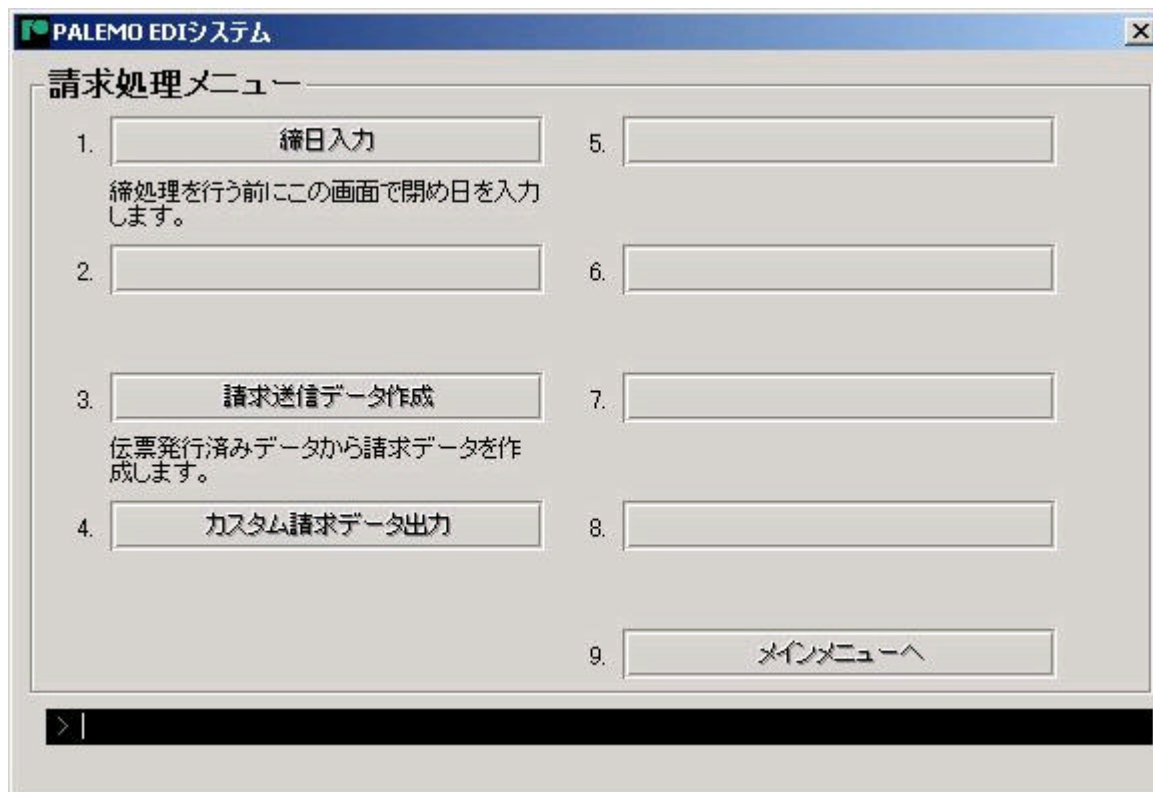
表示されている数量を訂正することで、値札プリンタより出力する数量を変更することが可能です。

デフォルトの数量は、発注された数量が表示されます。

(伝票操作画面で数量を訂正した場合は、訂正後の数量が表示されます。)

## メインメニュー 4 請求処理

メインメニューから 「4. 請求処理」を選択すると、「請求処理メニュー」が表示されます。  
請求データを作成する処理を行います。



PALEMO EDIシステム

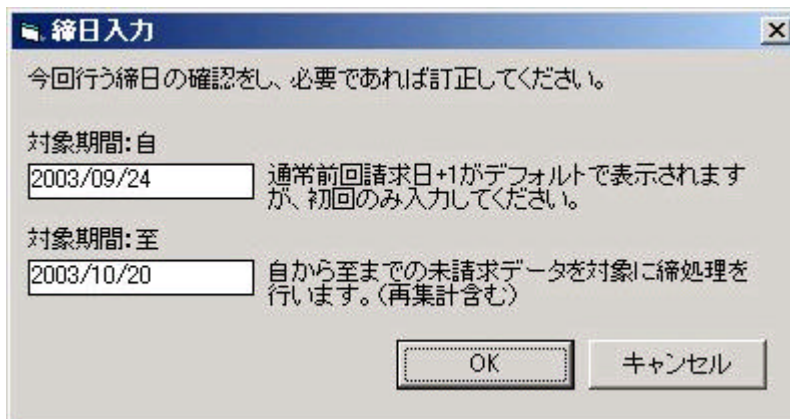
請求処理メニュー

1. 締め日入力	5.
締め処理を行う前にこの画面で締め日を入力します。	
2.	6.
3. 請求送信データ作成	7.
伝票発行済みデータから請求データを作成します。	
4. カスタム請求データ出力	8.
9. メインメニューへ	

> |

### (1) 締め日入力

締め処理を行う前に、この画面で締め日を入力します。  
ここで指定した期間内に伝票発行された明細に、フラグをたてます。



締め日入力

今回行う締日の確認をし、必要であれば訂正してください。

対象期間: 自  
2003/09/24 通常前回請求日+1がデフォルトで表示されますが、初回のみ入力してください。

対象期間: 至  
2003/10/20 自から至までの未請求データを対象に締め処理を行います。(再集計含む)

OK キャンセル

## (2) 請求送信データ作成

伝票発行済みデータから請求データを作成し、当月請求を行うデータを選択する画面です。

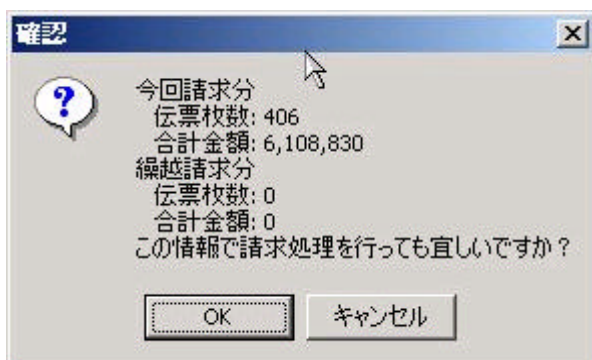
### < 各画面説明 >

左	今回対象になったデータの一覧です。
右上	今まで行った請求処理を請求単位で表示します。
右中	画面右上の行単位の明細を表示します。 再請求を行う場合この明細の対象行の CK 欄をチェックして下さい。
右下	次回以降請求と思われる明細を表示します。 対象月内でも伝票発行されていない明細は、ここに表示されます。

### < 各ボタン説明 >

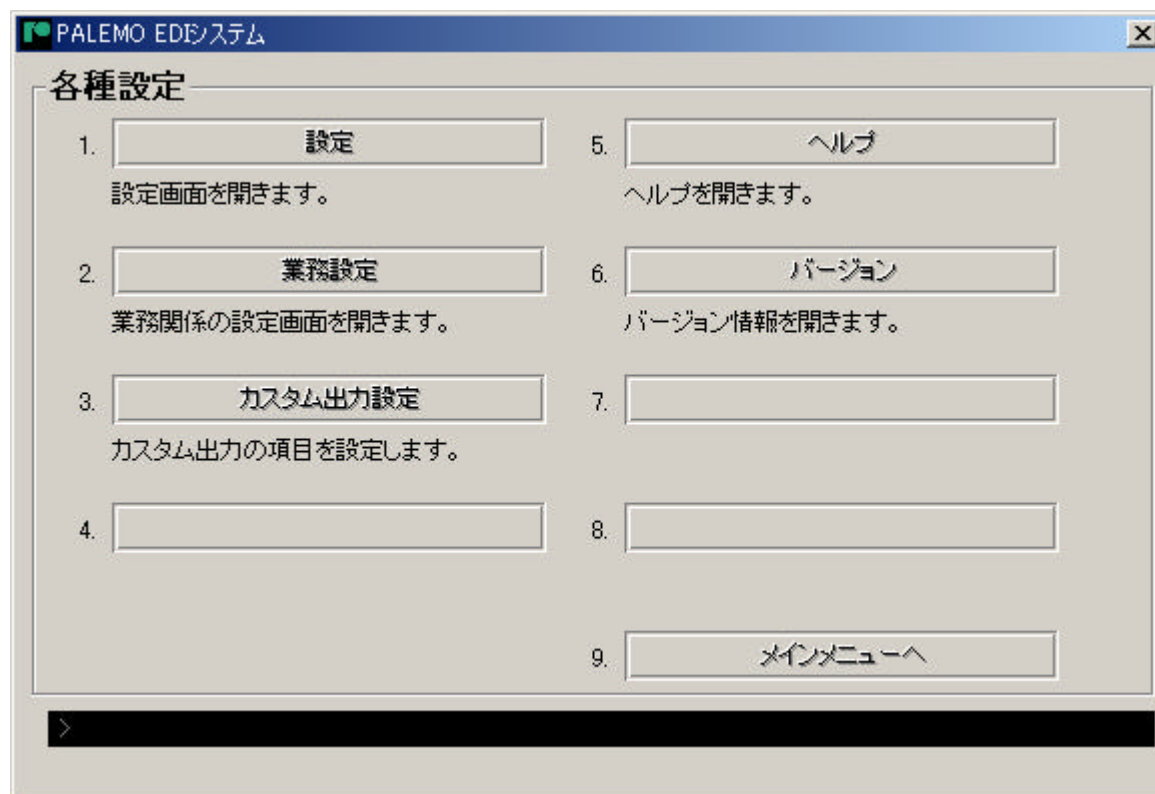
右上	管理 No	画面右中にその行の明細を表示します。
下	出力( <b>F1</b> キー)	データの選別が終わり、請求ファイルを作成するには <b>F1</b> キーを押すか、画面右下の「出力」と書いてある所をクリックして下さい。
	戻る( <b>F9</b> キー)	この画面を閉じて、請求処理メニューに戻ります。

出力ボタン、または **F1** キーを押すと、対象データの伝票枚数及び金額の合計を表示しますので、OK であれば **OK** ボタンを押し、ファイルを保存して処理を進めて下さい。  
保存されたデータは速やかに送信して下さい。



## メインメニュー 8 各種設定

メインメニューから 「8. 各種設定」を選択すると、「各種設定メニュー」が表示されます。  
システムの設定を表示・修正します。



### <メニュー項目説明>

1.設定	システムを使用する上で必要な設定をする画面を開きます。
2.業務設定	締め日、保存条件を設定する画面を開きます。
3.カスタム出力設定	
5.ヘルプ	
6.バージョン	バージョン情報を開きます。
9.メインメニューへ	この画面を閉じて、「メインメニュー」を開きます。

## (1) 設定

各種設定メニューから「1.設定」をクリックすると、設定画面が表示されます。  
この画面では、システムを使用する上で必要な設定を行います。  
データは、アプリケーションの初回起動時に設定された値が表示されています。

設定

Web-EDI URL :

読み込み出力関係

読み込みフォルダ  参照

書き出しフォルダ  参照

書き出しファイル名  指定したファイル名の後に日付時間が付加されます。

プリンタ設定

伝票用

品揃えリスト用

確認 取消し

## 設定内容説明

Web-EDI URL	発注データを受信する時に開く Web サイトの URL を入力します。
-------------	-------------------------------------

### < 読み込み出力関係 >

読み込みフォルダ	発注データをシステム内に取込む際にデフォルトで表示するフォルダのパスを入力します。
書き出しフォルダ	請求データをシステムから出力する際にデフォルトで表示するフォルダのパスを入力します。
書き出しファイル名	請求データをシステムから出力する際にデフォルトで表示するファイル名を入力します。 (この項目で設定した内容の後に日付&時間が追加され表示されます。)

### < プリンタ設定 >

伝票用	伝票を出力するドットプリンタ名をリストから選択します。
品揃えリスト用	品揃えリストを出力するプリンタをリストから選択します。



## (2) 業務設定

各種設定メニューから「2.業務設定」をクリックすると、業務設定画面が表示されます。  
この画面では、締め日と保存条件の設定を行います。  
データは、アプリケーションの初回起動時に設定された値が表示されています。

業務オプション

PALEMO締め日  デフォルトの締め日を入力してください。  
末締めは 31 と入力してください。

保存条件 (月範囲 1~24)

発注データ読み込み後  ヶ月保存

請求データ、請求日後  ヶ月保存

PBマスタデータ、販売終了日後  ヶ月保存

デフォルトに戻す

確認 取消し

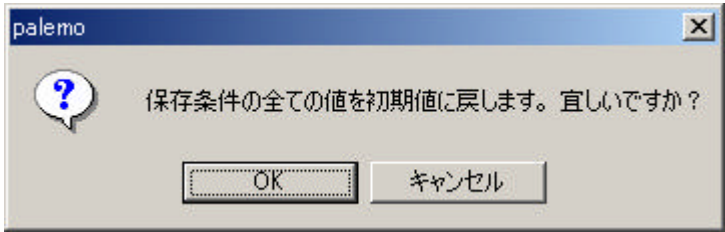
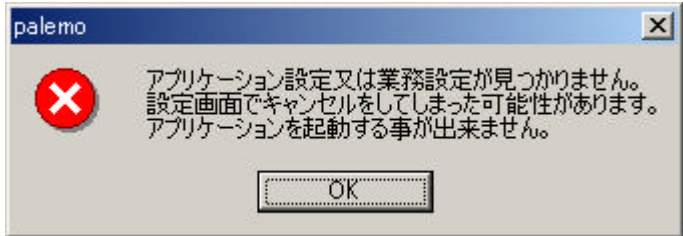
### < 設定項目説明 >

PALEMO 締め日	締め日を入力して下さい。ここで設定した締め日に基づいて、アプリケーションで処理を行います。 デフォルト（初期自動設定値）は 20 日です。
------------	--

#### < 保存条件 >

発注データ	発注データの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。 ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 3 ヶ月です。
請求データ	発注データの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。 ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 6 ヶ月です。
PB マスタデータ	PB マスタデータの保存期間を月単位で、1～24 ヶ月の範囲で入力して下さい。 ここで設定した保存期間は、「保存データ削除処理」で検索条件として表示されます。デフォルトは 2 ヶ月です。

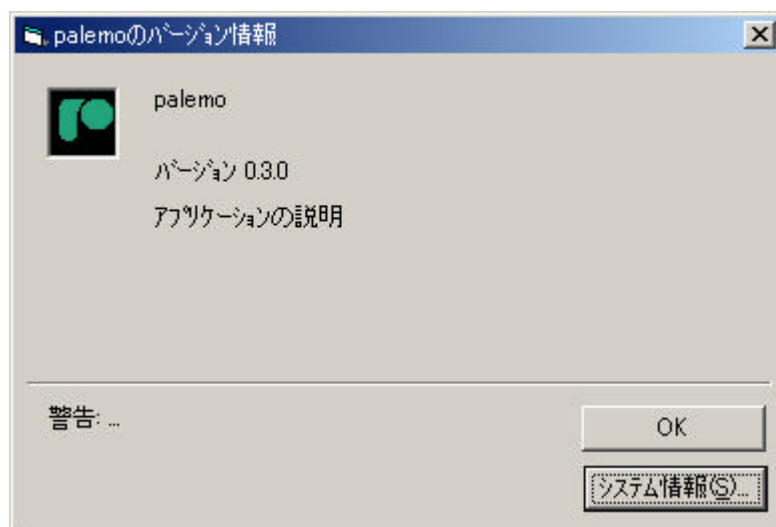
< 各ボタン説明 >

デフォルトに戻す	<p>このボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示され、入力されたデータは廃棄され、デフォルト値が入力されます。</p> 
確認	<p>各項目の設定が終わったら、この確認ボタンをクリックします。</p>
取消し	<p>業務項目の設定をキャンセルする場合にこのボタンをクリックします。設定はされませんので、アプリケーションの起動はできなくなり、エラーメッセージが表示されます。</p> 

(6) バージョン情報

各種設定メニューから「6.バージョン情報」をクリックすると、現在使用しているこのアプリケーションのバージョンが表示されます。

システム管理者に連絡する場合には、このバージョン情報（下図の場合“0.3.0”）も合わせてお知らせ下さい。





---

## メインメニュー 9 終了

---

アプリケーションを終了します。

このときに、使用しているデータベースのメンテナンスを自動で行っています。